

This Page Is Inserted by IFW Operations
and is not a part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

**As rescanning documents *will not* correct images,
please do not report the images to the
Image Problems Mailbox.**



実用新案登録願

昭和53年11月10日

(¥ 4,000)

特許庁長官殿

1. 考案の名称 スケートボード用スキー

2. 考案者

住所 群馬県多野郡吉井町吉井646
氏名 株式会社 吉井金型内 (外 名)
高橋 一由

3. 実用新案登録出願人

住所 群馬県多野郡吉井町吉井646
(所在地)
氏名 株式会社 吉井金型 (外 名)
名称
代表者 代表者 高橋 一由 (外 名)
国籍

4. 代理人

住所 〒101 東京都千代田区東神田2丁目1番11号
氏名 第6441号 弁理士 磯野道造
電話東京(03)863-5855(代表)~7-866-9320
866-1638

5. 添付書類の目録

✓ 1 明細書	1 通
✓ 2 図面	1 通
✓ 3 委任状	1 通
4 願書副本	1 通
✓ 5 出願審査請求書	1 通

6. 前記以外の考案者、実用新案登録出願人または代理人

53 154149

55-70176

明 細 書

1 考案の名称 スケートボード用スキー

2 実用新案登録請求の範囲

下面を滑降面とした本体の上面に、スケートボードの車輪を載せて支持固定する適宜の固定手段を設けてなるスケートボード用スキー。

3 考案の詳細な説明

この考案は、スケートボードに装備して雪上、砂上または草上等においても滑降遊戯ができるようにしたスケートボード用スキーに関する。

一般に、スケートボードは、踏板の底部に前後車輪を設けた構造で、踏板に片足もしくは両足を乗せて路面上をバランスを取りながら滑降して楽しむものであるが、その滑降手段が車輪であるため砂上、雪上、あるいは草上等では、車輪が雪中または砂中に埋没してしまい滑降遊戯ができなかつた。このためスケートボードの遊戯利用範囲が舗装された路面上だけに限られるという欠点があつた。

この考案は、上記欠点に着目してなされたもので、その目的とするところは、従来構造のスケートボード

における前後車輪に装備するだけで、雪上、砂上、あるいは草上等においても簡単なる操作にてスケートボードによる滑降遊戯ができ、しかも、スケートボードへの装着が簡単かつ確実に行なれるスケートボード用スキーを簡単な構成で提供することにある。

以下に、この考案を図示の一実施例に基づき説明すると、図中1は、スケートボードで、このスケートボード1は、その上面が適宜の滑り止め加工が施されてなる平板状の踏板2と、この踏板2の下面前後に所定間隔をおいて設けられ使用者の重心の移動で走行方向を所望方向に操作する舵取り車軸3、3と、この各舵取り車軸3に取付けられた一对の車輪4、4から構成されている。

斯様に構成されているスケートボード1の前後車輪4…には以下に説明するスキー5が装備されている。

すなわち、スキー5は、第2図に示す如く先端を斜め上方に彎曲形成した合成樹脂製の舟形状本体6に、その上面部には、スケートボード1の一对の車輪4、4を支持固定する一对の後述する車輪受け部7、7が本体6と一体に突出して並設されているとともに、この

両車輪受け部 7、7 の間には一対の車輪 4、4 の横滑動を規制する一対の滑り止め片 8、8 が前記本体 6 と一体に突出して並設され、下面部には、第 3 図に示す如く本体 6 の長手方向両側部に滑降中における横滑りを防止する案内片 9、9 がそれぞれ本体 6 と一体に突出して並設されている。

前記車輪受け部 7 は、略中央部にスケートボード 1 の車輪 4 が係合する断面略 U 字状の車輪係合溝 10 を形成し、この車輪係合溝 10 の両側隆起部から長手方向にそれぞれなだらかな傾斜面を形成している。この前側傾斜面における前記車輪係合溝 10 の近傍には、バンド止め部 11 が形成され、このバンド止め部 11 には、基端に係止鈎部 12a を有するとともに、自由端側に複数の掛止孔 12b…を有した車輪 4 の上方向動規制用のゴム製からなる緊締バンド 12 の基端がピン 13 で巻止めされている。また、後側傾斜面における車輪係合溝 10 の近傍には、前記緊締バンド 12 の自由端側の掛止孔 12b を嵌着して緊締バンド 12 を掛止する周壁に抜け防止段部 14a を有した掛止ピン 14 が斜め後方に向けて立設されている。

斯様に構成されたスキー5をスケートボード1の前後車輪4…のそれぞれに装備する場合は、まず、一对の車輪4、4を本体6の一对の車輪係合溝10、10にそれぞれ係合させた後、緊縮バンド12を車輪4の上側に巻掛けた状態で自由端側を掛止ピン14に緊縮掛止させる。この状態でのスケートボード1の車輪4は、本体6の車輪係合溝10と緊縮バンド12で上下方向動が規制され、かつ一对の滑り止め片8、8で横方向動が規制されてスキー5に確実に支持固定された状態になる。また、スキー5をスケートボード1の前後車輪4…から取り外す場合は緊縮バンド12の自由端側を掛止ピン14から外せば容易に取外すことができる。

一方、スキー5を装備したスケートボード1で雪上面、砂上面、あるいは草上面等を滑降遊戯する場合は、スケートボード1の踏板2に使用者の片足もしくは両足を乗せてバランスを取りながら滑降する。この場合本体6の下面部に案内片9、9が形成されているので、滑降中に横滑りを起して転倒するという危惧もなく、しかも、スキー5を車輪4に取付けてあるため使用者の重心の移動でスケートボード1の舵取り車軸3を介

して所望方向に滑降操作でき、特に、スケートボード 1 の前後車輪 4 … に対し、2 個のスキー 5 を別々に装着するものであるから、滑走中舵取操作が容易で滑り易いという利点がある。

この考案は以上説明したように、下面を滑降面とした本体の上面にスケートボードの車輪を支持固定する適宜の固定手段を設けた構成であるので、単に路面上だけしか滑降遊戯ができなかつた従来のスケートボードを、その車輪に本体を装備させるだけで砂上や雪上、あるいは草上等においても滑降遊戯することができ、スケートボードの遊戯利用範囲が拡張され、実用的価値が高い。

4 図面の簡単な説明

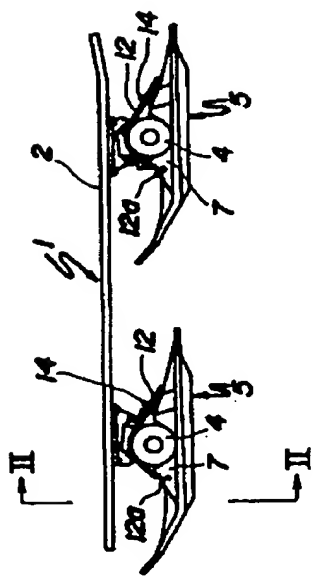
図面はこの考案の一実施例を示すもので、第 1 図はスケートボードの前後車輪にスキーを装備した状態を示す側面図、第 2 図はスキーの上面部斜視図、第 3 図は同下面部斜視図、第 4 図は第 1 図 II - II 線断面図である。

1 … スケートボード、2 … 踏板、3 … 舵取り車軸、
4 … 車輪、5 … スキー、6 … 本体、7 … 車輪受け部、

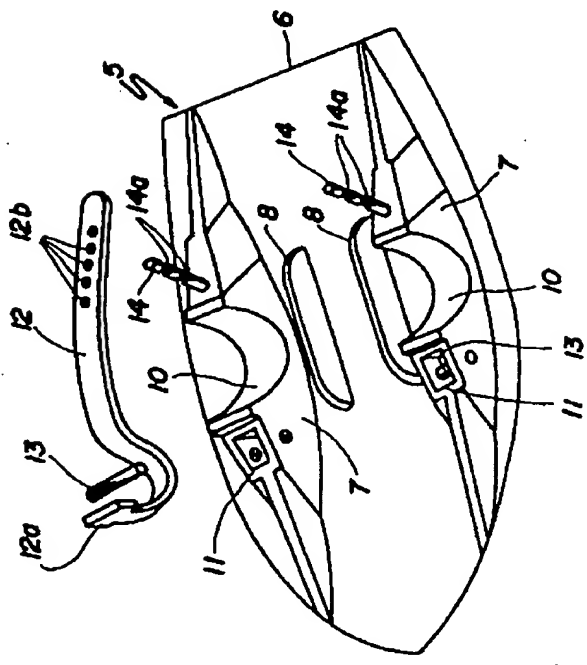
- 8…滑り止め片、9…案内片、10…車輪係合溝、
11…バンド止め部、12a…係止鉤部、12b…掛止孔、
12…緊縮バンド、13…ピン、14a…抜け防止段部、
14…掛止ピン。

実用新案登録出願人 株式会社 吉井金型
代理人 弁理士 磯野道造

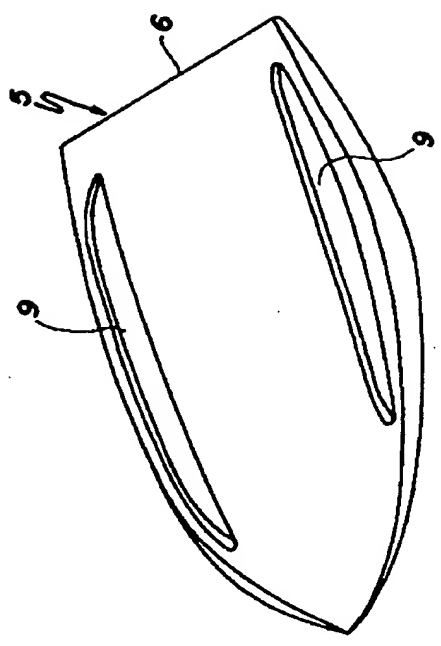
第1図



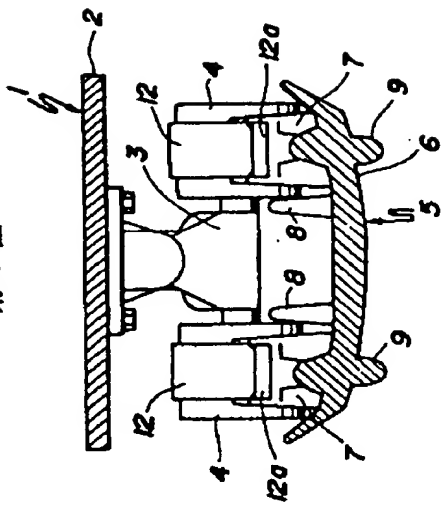
第2図



第3図



第4図



代理人 井理士 磯 野 道 造